

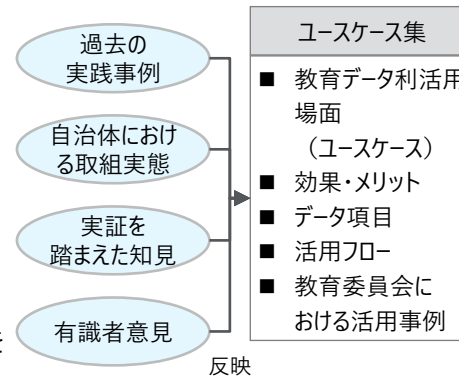
「効果的な教育データ利活用に関する調査研究事業」の概要

年度当初の課題を踏まえた本事業の目的

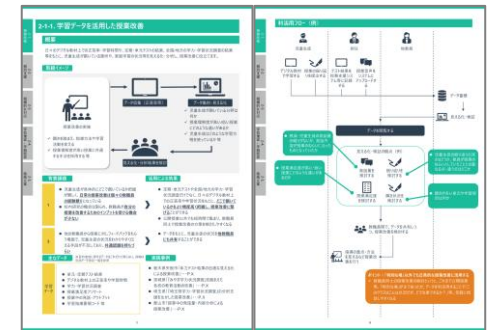
GIGAスクール構想により、教育データの蓄積・活用ができる環境が整備される中、各教育委員会での有効的な教育データ利活用方法が共通知化されていない状況だった。そのため、教育委員会に対し具体的な利活用方法を示すとともに、「どのような場面でのように教育データを活用することが効果的なのか」を示し、教育データ利活用の促進を図ることを目的に本事業が実施された

事業内容・成果

- 既存の調査研究や事例の整理
過去の文科省事業における取組事例や国内外事例を整理し、**教育データ利活用の全体像を把握**
- 関係者へのヒアリング
教育データ利活用に取り組んでいる自治体へのヒアリングから、**教育データ利活用における実態**（効果・課題等）を整理。加えて、有識者の意見から、**教育データ分析に関する手法や留意点**等についても整理
- 教育委員会における実証
アンケート・ヒアリングを実施し、**教育データ利活用の効果・効果的に進める上でのポイントを検証**。また、**教育データ利活用の取組の改善**に向けて、実証教育委員会に示唆を提示
→ これらを踏まえて、教育委員会・学校にて、教育データ利活用の具体的なイメージをもっていただけるよう「**ユースケース集**」を作成



ユースケース集イメージ



事業から得られた示唆

教育データ利活用における課題

1. 教育効果が期待されるユースケースであっても、**一部は国内での実践が非常に限定的、あるいは行われていない**
2. 既に一定数の自治体で取り組まれているユースケースであっても、実証研究や効果検証が十分には行われておらず、**教育データ利活用による教育効果の最大化や横展開に繋がりにくい**。例えば、現状では以下が課題となっている
 - i. 教育データ利活用が**教職員の業務フローに適した形式に落とし込まれていない、または組織的な取組になっていない**ことで、現場に浸透しない
 - ii. 教育データ利活用による効果が分かりやすい形で示されていないため、**学校への周知や予算獲得がづらい**

今後、必要な取組

1. 国内外における**より有効な教育データ利活用事例の発掘**や、**ニーズのあるユースケースを横展開するための課題整理等の調査研究**を行う
2. 既に一定数の自治体で取り組まれているユースケースについて、**実証研究を行い、取組効果を高めるための業務の在り方の検討や定量的な効果検証を進め、教育委員会や学校現場に分かりやすい形で発信**する
 - i. 実証等を通じて、効果的な教育データ利活用につなげるための活用フローやシステム/ツールのあり方、データ利活用の仕組み（体制や定期的な協議等）を明確化し、教育委員会や学校へ発信する
 - ii. 教育データ利活用による教育効果を検証し、教育委員会や学校へ発信する